弾ける笑顔。おいしい屋台で

しものごう敬老園　上田市下之郷463-1

例年、ご家族や地域の皆様、多くのボランティアの皆様にご協力をいただき、盛大に開催する納涼祭。今年は感染対策のため、入居者様と職員のみで規模を縮小しての開催となりました。感染対策をしたうえで「お祭りの雰囲気を楽しんでいただきたい。」と消毒や清掃、密を避けるために2部制にする等の対策方法を職員で話し合いを重ねての実施となりましたが、入居者様の楽しそうな笑顔に職員も癒しのひと時を感じる1日となりました。

さて、納涼祭といえば屋台です。人気のおやつをメニューとし、昔懐かしい射的とヨーヨー釣りで職員と一緒に盛り上がりました。お昼は屋台定番のメニューをご提供し、お祭り気分を存分に味わっていただき、笑い声の絶えない納涼祭を行うことができました。

しものごう敬老園　管理栄養士 遠藤 久美子



職員による魅力いっぱいの屋台風景



祭

お昼は、屋台の人気メニュー

やきそば・やきとり・お好み焼き



暑さのためかアイス・チョコバナナが大人気!

祭　おやつランキング1位のたい焼きも「おいしい」と好評でした!

編集後記

90代女性の1人暮らし、基礎疾患があり、家族は県外在住。排泄・入浴・食事の援助にヘルパーとして訪問しています。健康管理に細心の注意を払っていますが、万が一、自分が新型コロナウイルスに感染していたら…。この緊張感は、言葉に表せません。今日もご利用者が待ってくださっているという使命感をお守りに。

地域とのコミュニケーション情報発信紙

敬老園便り

第30号
令和2年
10月1日発行

【編集・発行】敬老園本部／〒386-0027 長野県上田市常磐城2256-1 2F　TEL.0268-28-1170(代)

p1　心が動くと体が動く
p2　今、私たちにできること
p3　共感。そして、涙
p4　安心した生活
p5　チーム敬老園
p6　退職者再入職制度
p7　五感で味わう敬老園の食事



設立 1973年(昭和48年)5月

敬老園の理念

少子高齢化の進展に伴う様々な問題に、地域に根ざした社会福祉法人として三つの理念を掲げ、役職員が一丸となり社会貢献を致します。

敬老園は人間の尊厳を大切にし、柔軟な心をもってあらゆる可能性のある質の良い介護を目指します。

敬老園は公平公正な施設運営を旨とし、変化する時代を的確にとらえ社会に貢献する健全な経営を目指します。

敬老園は心と心の結びつきを基本とし、取り巻く全ての関係を誠意と熱意をもって構築することを目指します。

Newsその1

心が動くと体が動く
私たちの想像を遥かに超えていく瞬間

かるいざわ敬老園特別養護老人ホーム（軽井沢町追分1436）に入居されているA様。ゆっくりと穏やかな時間をお過ごしになられています。いつもは、手をお腹の前で組まれており、移動や食事など日常の多くに介助が必要です。

A様のイメージが覆ったのは、昨年の秋に外出行事として企画した「りんご狩り」でした。表紙の写真は、いつもの3倍に目を見開き、いくつかの「りんご」を真剣に見つめた後、すっーと手を伸ばし、ご自身の力でもぎ取ろうとしている瞬間です。

「全員が外出する!季節を感じていただきたい!」というテーマで企画した外出行事。ある職員が「私たちって長野県に住んでいるけれど、りんご狩りって行ったことないよね。」という一言がきっかけで4年前から秋の恒例行事になっています。

職員一丸となって入居者様の体調面を考慮した移動時間や車椅子を押しながら移動が可能か（段差や斜行状況）、トイレの有無などを事前に確認し、喜んでいただくためにはと数週間前から準備をしました。実際にお世話になったりんご園では、収穫しやすい高さの木や比較的空いている時間帯を丁寧に案内してくださいました。

「りんご狩りは、地元の人が行くもんじゃない。観光客が行くもんだ。」と乗り気でなかった入居者様も1つ1つの銘柄を解説してくださったり、どのりんごを収穫するのかも「これじゃない。あれだ、その向こうだ。」と一切の妥協を許しませんでした。収穫後も、その場で食べたい方、すりりんごにしたい方、もったいないと大切に包んで持って帰りたい方など個々の性格が表れていました。B様の握力。C様の立ち上がる力。私たちも、入居者様おひとりおひとりの身体状況を事細かく承知していますが、想像をはるかに超えていく姿に胸をうたれます。

新型コロナウイルスが終息し、みんなで外出ができる日を待ち望んで…。







Newsその2

今、私たちにできること

新型コロナウイルスの影響は、入居者様の穏やかな日常に大きく影を落としています。特に人との接触を避けるために、楽しみにしているご家族との面会やお世話になっているボランティアの皆様、地域の皆様の来園を制限せざるを得ない状況が続いています。

日頃から、多くの「人」に支えていただいているからこそ、穏やかな日常を過ごせていることを痛感しています。

今だからこそ、何かできること、工夫できること、寄り添えることは何か…。

すわべ敬老園特別養護老人ホーム（上田市常磐城2243-1）は、日頃からご家族の面会が多いこともあり、面会の際に日々の様子を直接、伝えることを大切にしてきました。

面会制限になっても「今まで通り、安心していただきたい。」と日々の様子を写真と直筆の手紙に込めて、ご家族に届けています。

ご家族から「会えないけれど、元気に過ごせていることが伺知れて安心しました。寂しさが和らぎました。」とお礼のお言葉をいただき、とても嬉しく思っています。

News その3

共感。そして、涙。
～新人職員フォローアップ研修から～

「4月とは、明らかに違う雰囲気で頼もしく思えました。」「同じ法人の仲間として、真剣に話すことができました。」

7月下旬に開催された新人職員フォローアップ研修を終えて、教育担当職員の率直な感想です。

新人職員フォローアップ研修は、入職からの日々を振り返り、仕事の基本を再確認することや日頃なかなか聞けないこと、自分では解決できない悩みを先輩職員や同期に話すことで、新たな目標設定をする機会としています。

研修記録から

その1

事業所や職種が異なるため、なかなか会うことができなかった同期が自分と同じ心境で頑張っていることを知れて、とても心強くなりました。目の前のことに必死で、なかなか先輩のようにできなかったり、これで良いのかと不安になったり、皆が同じ気持ちでした。

入職から4か月が経過し、先輩職員に優しくフォローしていただきながらも、大切な部分はしっかりと注意をしていただける環境があり、敬老園に入職して良かったと感じています。これからは、利用者様や職場の皆さんから安心していただける職員になりたいです。



その2

次の研修時には今よりも成長している姿を同期や先輩に見ていただけるよう頑張りたいです!

その3

本日の研修を通じて、これからの目標は、食材の下処理や盛り付け等の質を維持しつつ、作業スピードを上げると設定しました。今は、質を良くしようとすればスピードが落ちてしまいます。スピードを上げると質が低下してしまいます。そのため、先輩の方々がどのように手を動かしているのかを観察し、吸収しながら成長していきたいです。(栄養課職員)



グループに分かれて情報交換する場面で「新しいことの連続で緊張した毎日を必死に過ごしています。少しでも早く一人前になれるよう精一杯頑張っていきます。」と話した新人職員Aさん。同じグループで話を聞いていた新人職員Bさんが自身の状況を話し始めると当然、言葉を詰まらせてしまいます。「不安なのは自分だけじゃなかったです。」と仲間の話に共感した涙、自分と同じ想いの仲間がいる安心した涙でした。

令和2年度の新卒採用職員17名に私たちの仕事に大切な「共感する心」が育っています。



※写真撮影時のみマスクを外しています。

News その4

より安心して生活していただくために

しおがわ敬老園特別養護老人ホーム(上田市塩川1001)では、感染症発生時の個室管理、生活空間の区分けを明確に行うための個室を新たに2室整備しました。

新型コロナウイルス感染拡大が止まらず、先の見えない状況が続いています。ご利用者様、ご家族様、地域の皆様には、面会や来園等の制限にご理解とご協力をいただいていることに心より感謝申し上げます。今後も大切なご利用者様を不測の事態からお守りするための最善策を講じると共に、万が一に備えた対応力の強化に努めてまいります。







一所で一緒 チーム 敬老園

気持ちがあれば大丈夫！

No.15

うえだみなみ敬老園
介護付き有料老人ホーム
介護職
田平 枝利子



1度、敬老園を。介護の仕事を離れてみて、気づいたこと…。私、やっぱり介護が好き。介護は、自分らしくいられる。復職の時に背中を押してくれたのは、信頼できる仲間の存在でした。

敬老園に復職した理由を教えてください。

敬老園を離れてみて、介護の仕事は「自分らしくいられる!」と強く感じたことが復職の理由です。転職先では、座って黙々と同じ作業を繰り返す日々を過ごしていました。望んで転職をしたはずなのに、ご利用者や仲間と気持ちを通わせていた日々が楽しかった、元気をもらえていたと痛感しました。

そんな時に親しくしていた仲間から「敬老園に戻って来ない?」と誘ってもらい、すんなりと「介護をやりたい!」という気持ちになれたことを覚えています。

今は、1度離れてみたからこそ感じること、見えることが自分の中で大きなプラスの力になっています。

1回目の入職と現在とで変わったことはありますか。

自分が年をとったくらいですかね。(笑)

敬老園の良いところは、全く変わっていません。特に私は、仲間に恵まれていると自信を持って宣言できます!今までに勤務した、しおがわ敬老園特養、うえだ敬老園デイサービス、うえだみなみ敬老園介護付き有料老人ホーム。それぞれの事業所に特徴があり、良さがあります。働いている職員もそれぞれ違いますが、一緒に働いた仲間に共通して言えることは「気持ちが優しい」ことです。そんな仲間といると私も優しくなれる気がします。

また、大きな法人のため、異動で新しい事業所を経験ができることは他の法人にはない魅力だと思います。

復職する際に「不安に思ったこと」は、ありますか。また、敬老園(介護の仕事)に復職を考えている人へメッセージをお願いします。

1度離れても仲間と繋がっていたので復職に対して不安なことはありませんでした。ただ、介護技術面で以前のようにできるか心配はありましたが、丁寧に教えていただいたことで不安が徐々に和らぎました。

現在の上司は、私より年下の方ですが、親身になって相談に乗っていただけますし、しっかりと注意もしてくださいます。年齢に関係なく尊敬できる上司に出会えたことに感謝しています。

復職することに関して構える必要は全くなく「また、介護をやりたい!」という気持ちがあれば大丈夫です。一緒に働ける日が来ることを楽しみにしています。

私たちは多種多様な職種がそれぞれの役割を果たすことで利用してくださる方に「敬老園があって良かった」と思っていただけるようハツラツと毎日を過ごしています。

敬老園では、以前に敬老園で活躍していた方が「不安なく・気持ちよく」戻ってこられるような体制を整えております。

入職から本日に至るまでご勤務いただき、ありがとうございました。○○さんと一緒に仕事ができたことを本当に嬉しく思います。退職されると伺いまして、とても残念でなりませんが、これからの新しい環境でもきっとご活躍されることと思います。

このたび敬老園は、当法人を退職した職員を再雇用する制度を導入しました。新しい生活が一段落したら、ご連絡をいただければ幸いです。私たちは、いつでもお待ちしております。

また、お話しを伺えることを楽しみにしております。

社会福祉法人敬老園 退職者再入職制度

※一部抜粋

第1条(目的)
この制度は、結婚、妊娠、出産、育児、介護、看護、自己啓発、配偶者の転勤等の理由により、退職した職員に対し、再度、法人で活躍したいという者を雇用する制度である。

第2条(適用範囲)
この制度は、社会福祉法人敬老園を退職した者に適用する。

第6条(再入職時の処遇・賃金)
再入職時の処遇については、退職前の勤続実績及び退職から再入職時までの経験、能力開発の実績等を評価して決定することとし、原則として、退職時の勤務地、職種、号俸を考慮するよう努める。ただし、本人の希望、事業所の業務・人員の状況等を踏まえ決定する。



社会福祉法人
敬老園
[本部]〒386-0027 上田市常磐城2256-1
E-mail jinji@keiroen.or.jp
■法人本部 人事・教育研修部人事課【担当／山口・霜村】
0120 FreeDial 0120-70-1651
8:30～17:30
社会福祉法人敬老園 ウェブ検索

